

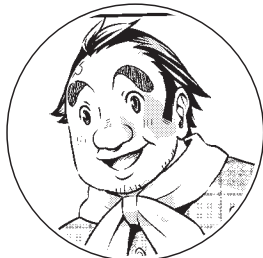
せ かい
G I A H S
のうぎょういせん
農業遺産

たかちほごう しいばやまちいき
高千穂郷・椎葉山地域
たかちほ ものがたり さんぶくようすいろ ひみつ
一高千穂 いで物語 山腹用水路の秘密一



せ かい
世界に
みど
認められた
さん ぶく よう すい ろ
山腹用水路!

かい
甲斐みのる



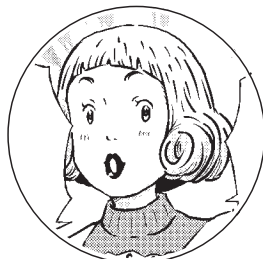
甲斐家の大黒柱。地元を愛して
おり、一度説明を始めると
とまらない。

パッティ



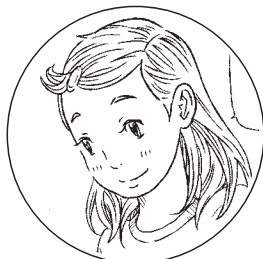
タイ、チェンマイ生まれの留
学生。好奇心旺盛で食べるこ
とが大好き。

かい
甲斐しなこ



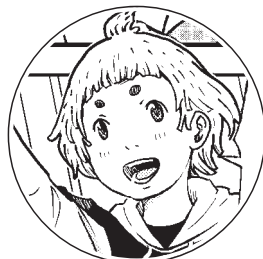
都会から嫁いできた、みのる
の妻。持ち前の明るさですぐ
に町にもなじんだ。

かい
甲斐まほろ



甲斐家の長女。おっとりして
そうだが、家族のなかで一番
のしっかり者。

かい
甲斐かむい



まほろの弟。明るく活発で、
お調子者。すぐ知ったかぶり
をする。

じいじ

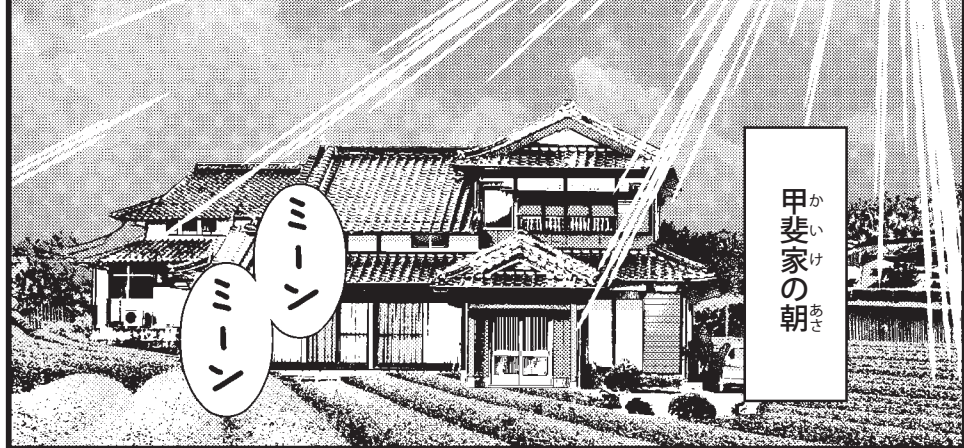


サルタヒコのような風貌の、
物知りおじいちゃん。森林セ
ラービーの案内人もしている。

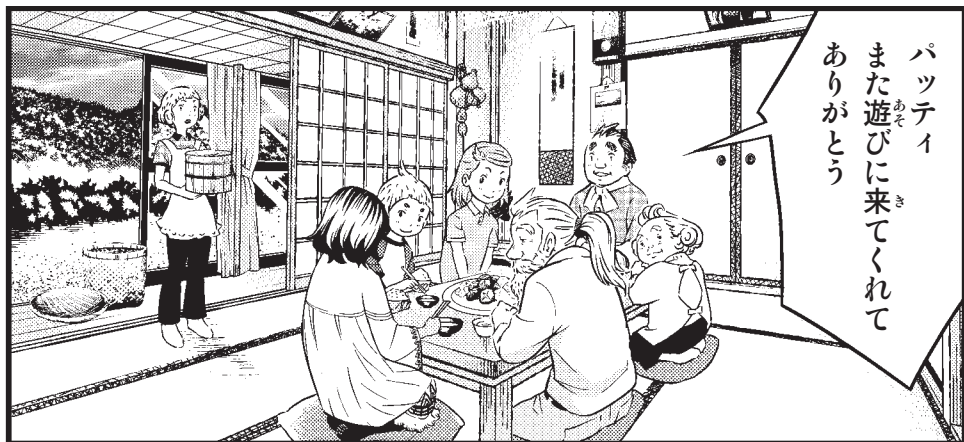
ばあば



むすめ
娘のころから茶摘みをやっ
てきた名人。料理上手で、もて
なしはたらふくがモットー。



甲斐家の朝



パッティ
また遊びに来てくれて
ありがとう



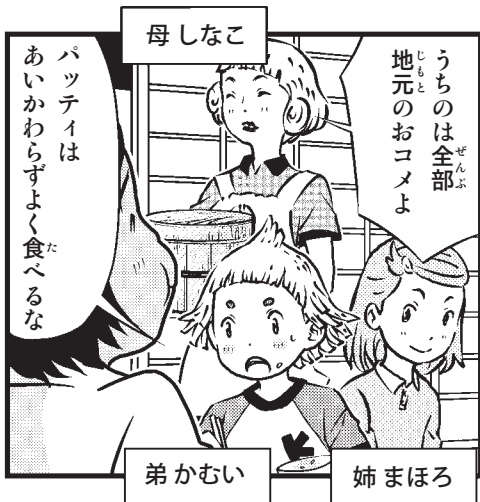
去年は
世界農業遺産について
学びましたが
今度の夏休みは…

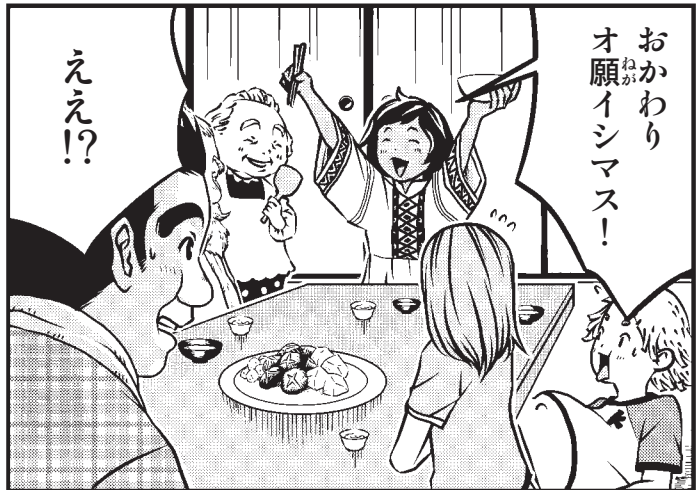
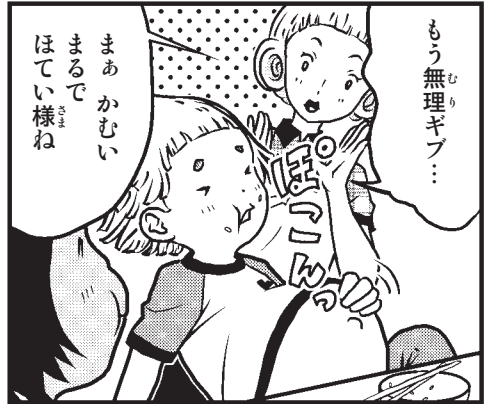
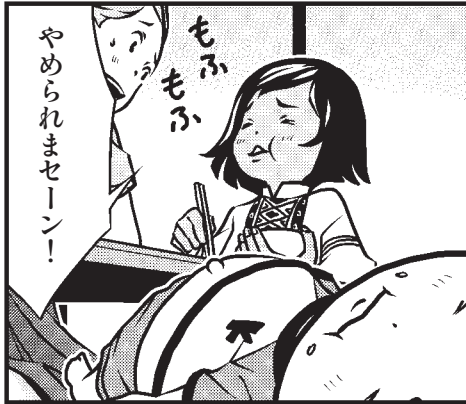
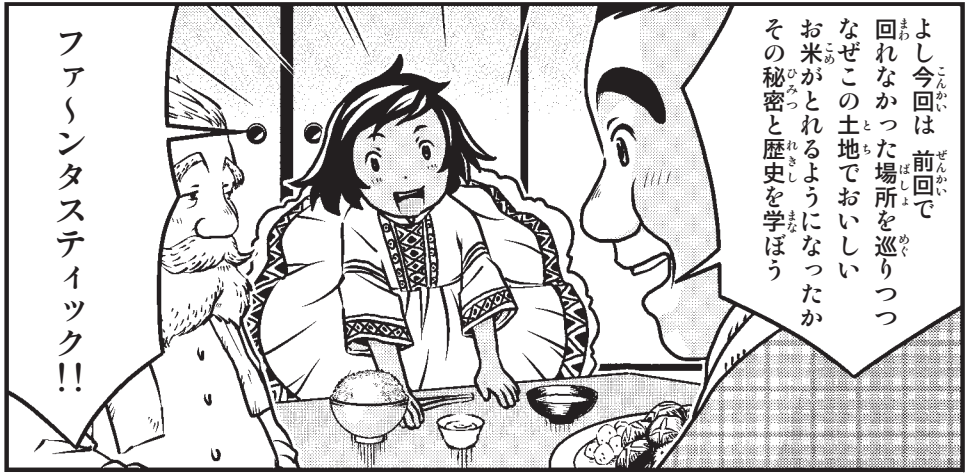


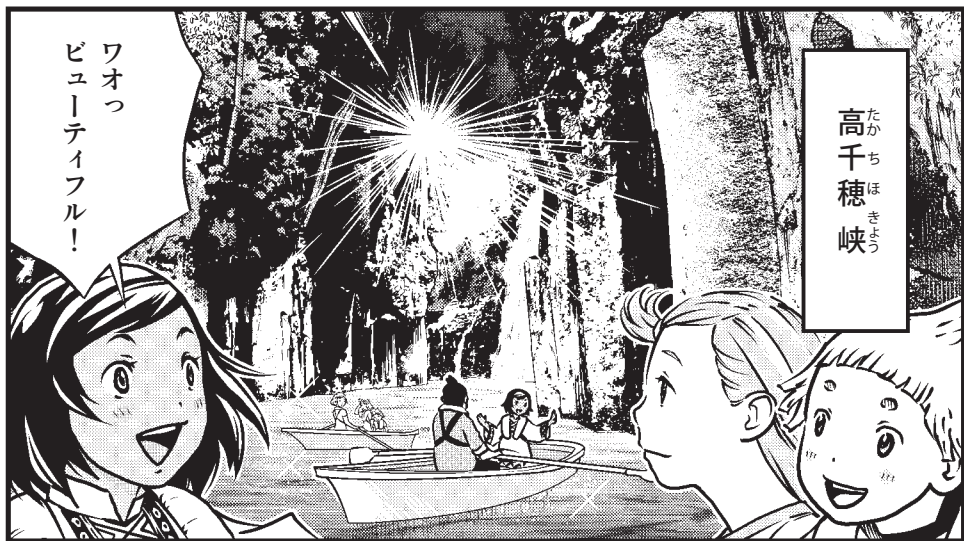
またみんなに
会いたかったデスヨ

去年は世界農業遺産のこと
いろいろ案内してもらって
とっても
ファンタスティックでしたヨ

タイからやってきた留学生
パッティ







ワオっ
ビューティフル！

たかちほきょう
高千穂峡

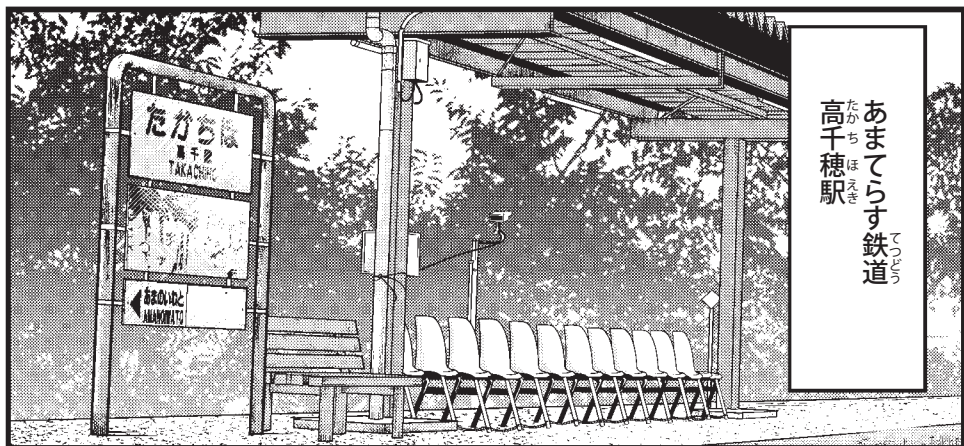


そうだね

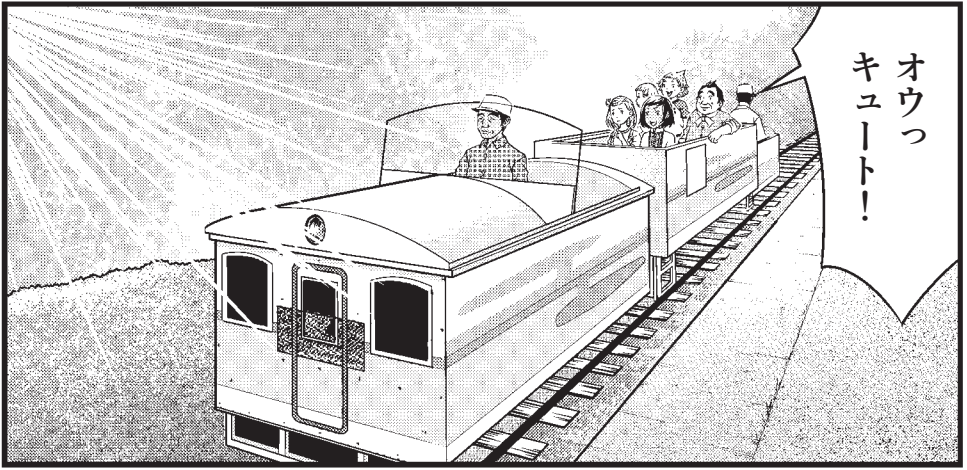
じやあ次は
景色が一望できる
場所があるから
そこへ行こう



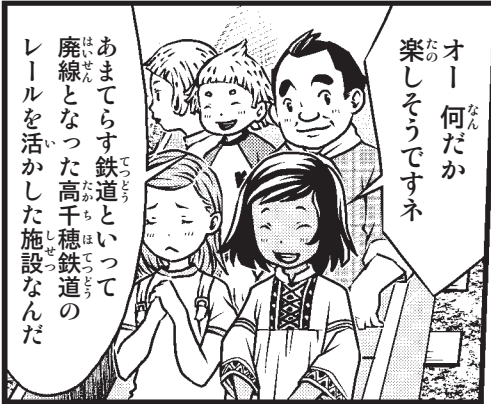
きれいなお水は
おいしいお米が
できますネ



あまてらす 鉄道
たかちほえき
高千穂駅

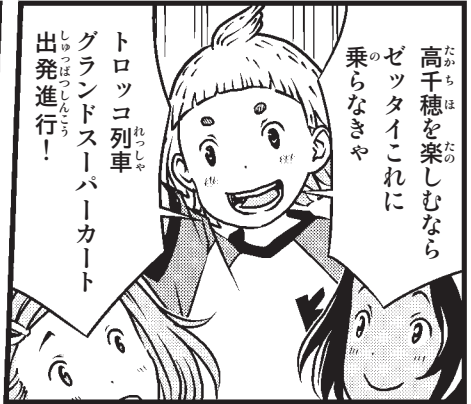


オウっ
キュート!



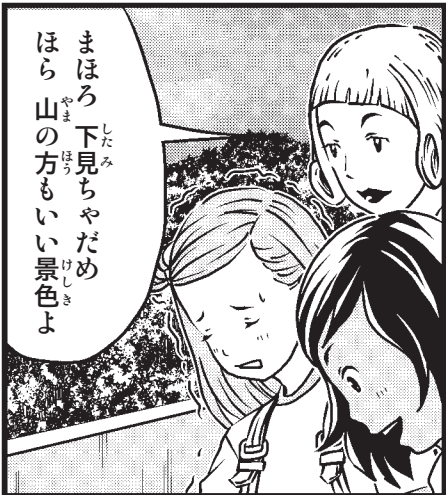
オー何だか
楽しそうですね

あまてらす鉄道といつて
廃線となつた高千穂鉄道の
レールを活かした施設なんだ



高千穂を楽しむなら
ゼツタイこれに
乗らなきゃ

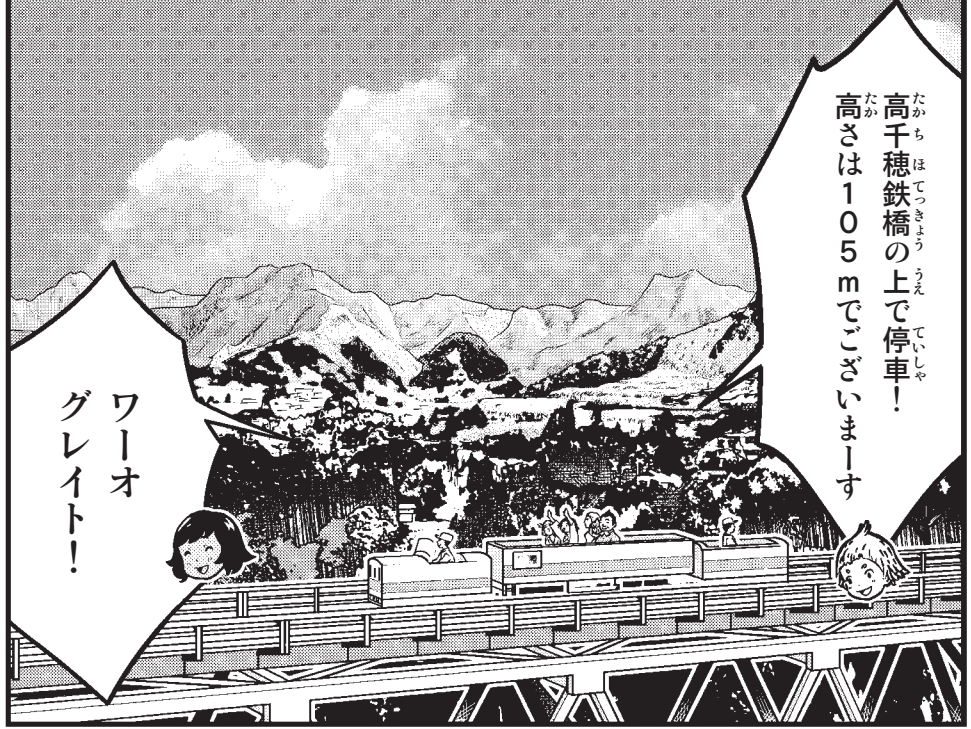
トロツコ列車
グランドスパーカート
出発進行!

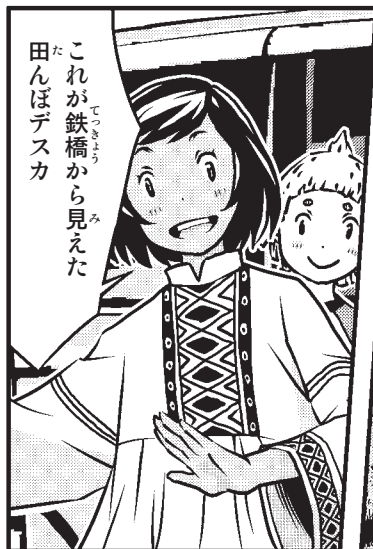
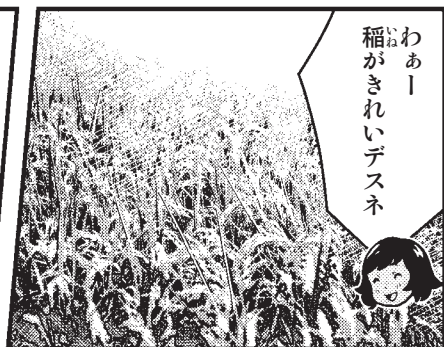
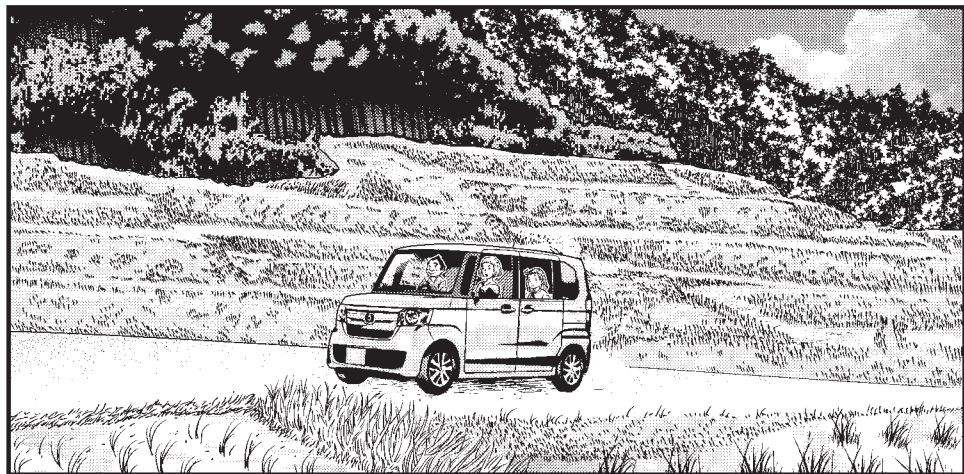


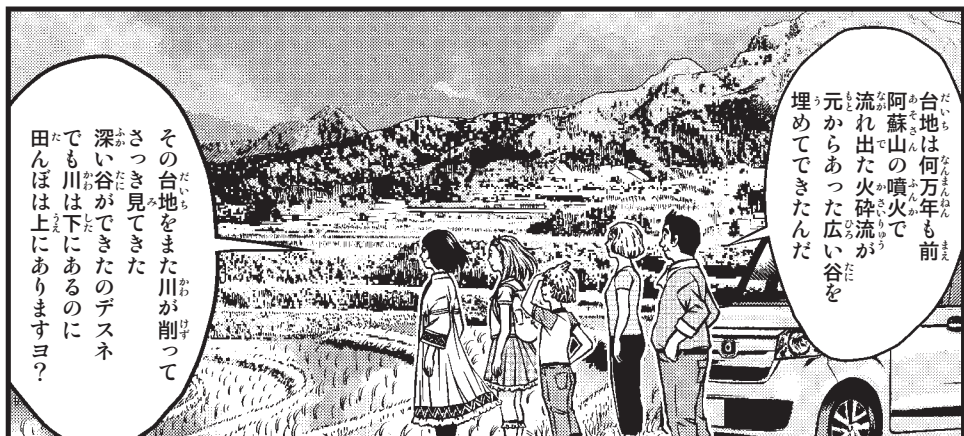
まほろ下見ちやだめ
ほら山の方もいい景色よ



キヤースリル満点!
真下に川が見えますヨ!





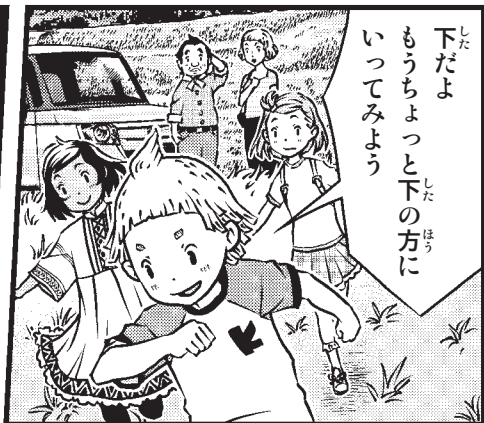


その台地をまた川が削って
さつき見えた
深い谷ができたのデスネ
でも川は下にあるのに
田んぼは上にありますヨ?

台地は何万年も前
阿蘇山の噴火で
流れ出た火砕流が
元からあった広い谷を
埋めてできたんだ



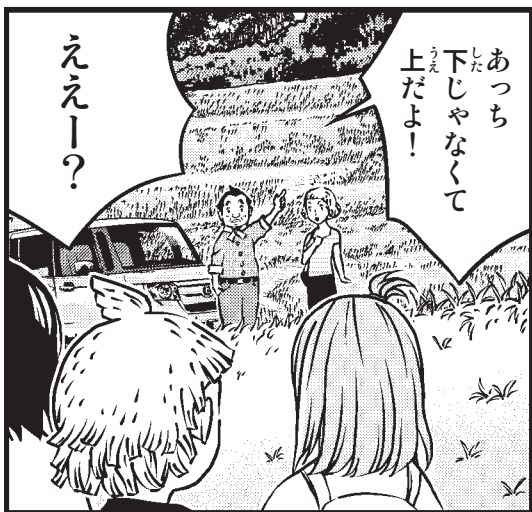
おいおい
探すのはそっちじゃないぞ
反対側!



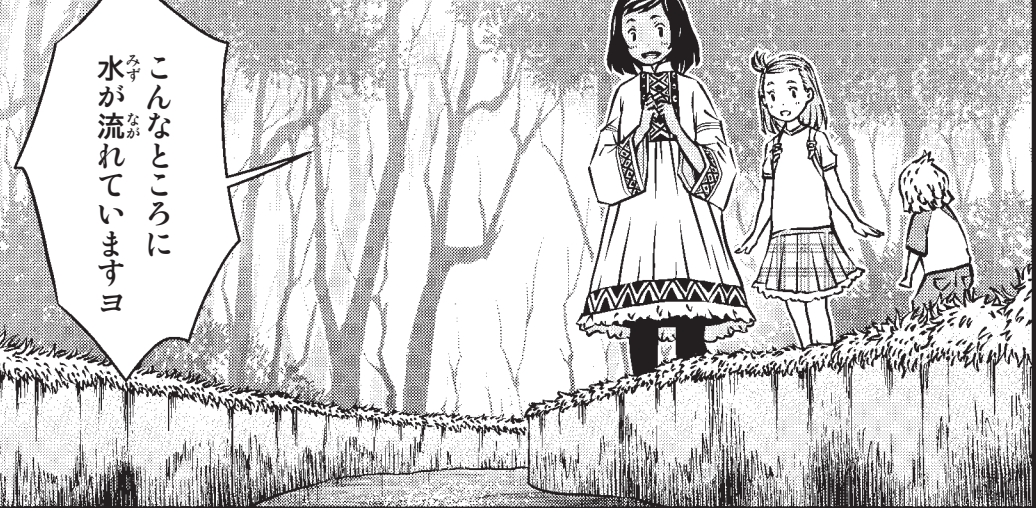
下だよ
もうちよつと下の方に
いってみよう



よし! 秘密は
どこだどこだ?



あっち
下じゃなくて
上だよ!
ええー?



こんなところに
水が流れていますヨ



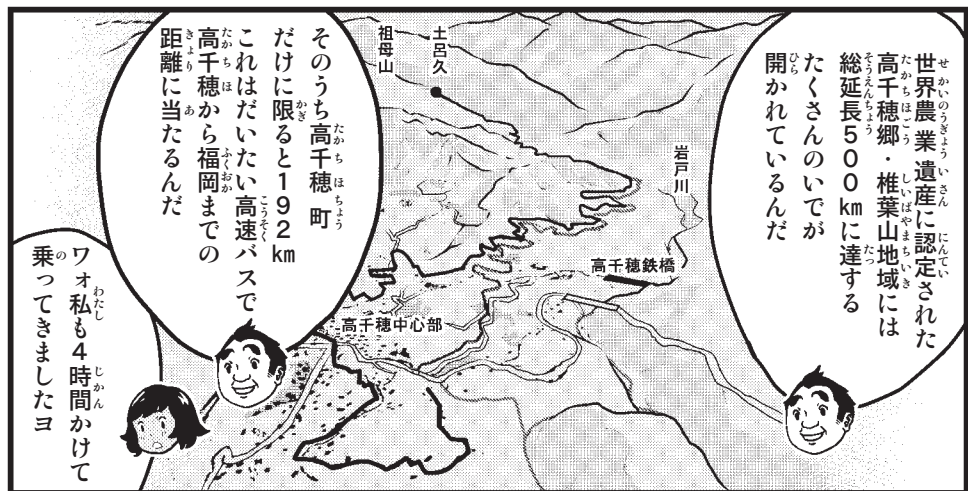
いでデスネ

正式には
山腹用水路といって
この用水路ができて初めて
米作りが可能になったんだ



この小さな川みたいなのが
稲作の秘密なの？

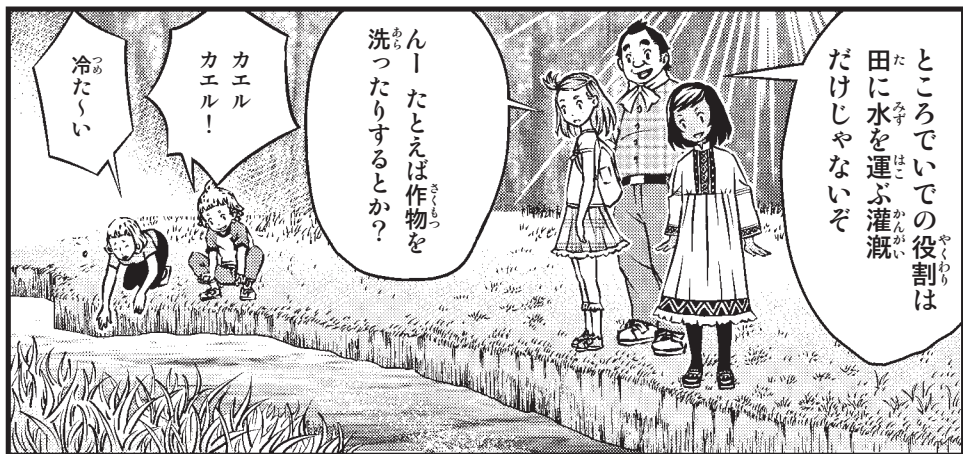
そうこの水で
棚田を潤してる
「いで」っていうんだ



世界農業遺産に認定された
高千穂郷・椎葉山地域には
総延長500kmに達する
たくさんのいでが開かれています

そのうち高千穂町
だけに限ると192km
これはだいたい高速バスで
高千穂から福岡までの
距離に当たるんだ

ワオ私も4時間かけて
乗ってきましたヨ



ところでいでの役割は
田に水を運ぶ灌漑
だけじゃないぞ

んーたとえば作物を
洗ったりするとか？

カエル
カエル！

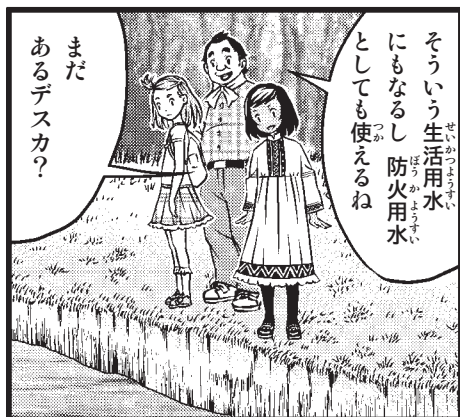
冷たい



実は洪水防止にも
役立つっているんだ

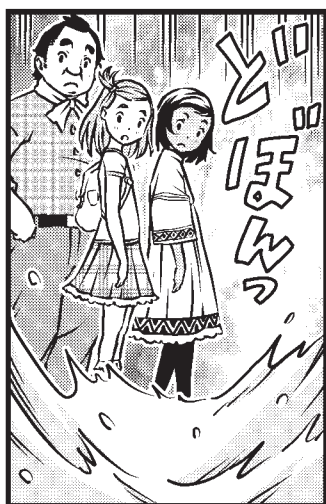
大雨の時は山から
流れてくる水を
いでキヤッチ
できますネ

それで水門とかも
必要なんだね



そういう生活用水
にもなるし 防火用水
としても使えるね

まだ
あるデスカ？

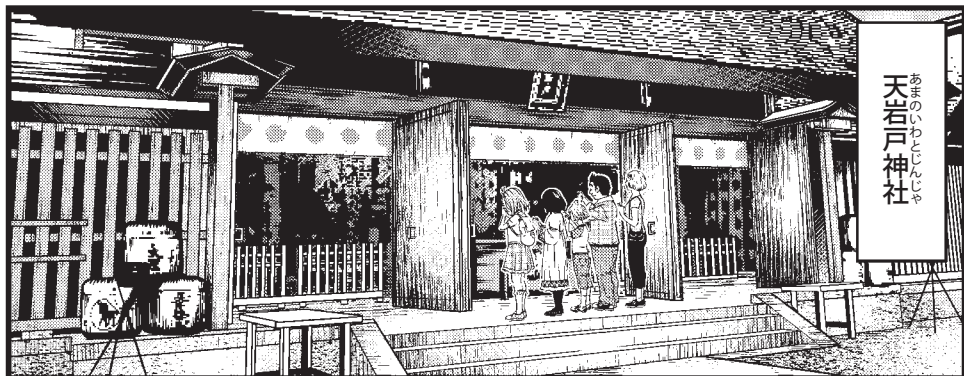
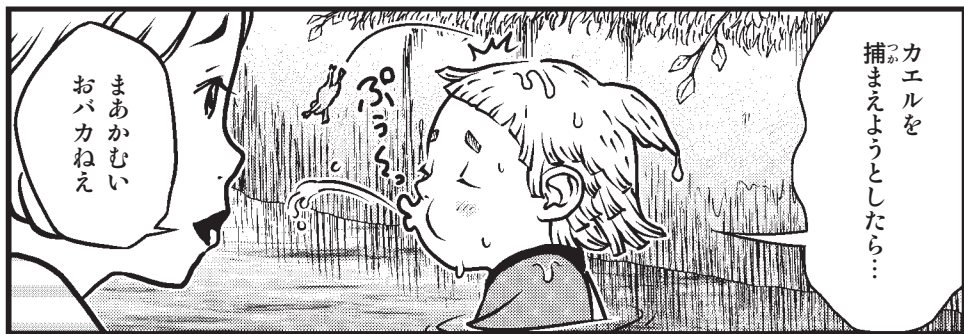


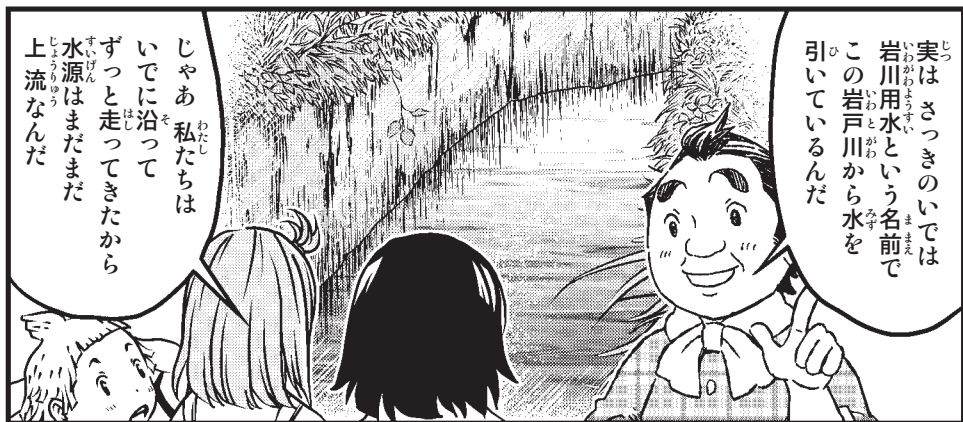
とぽんっ
とぽんっ
とぽんっ



このいでのおくさんの水は
どこから来るデスカ？

じゃあいでを辿って
もつと上に
行ってみようよ！



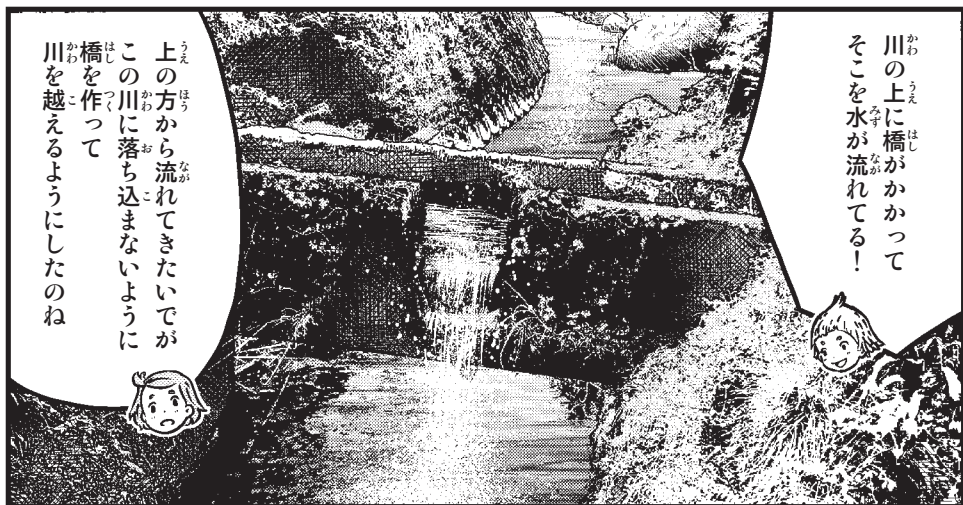
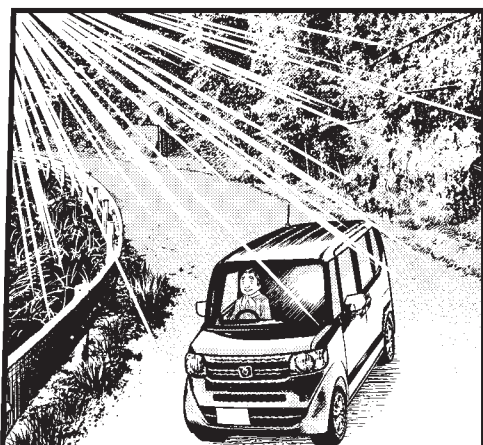


実はさっきのいでは
岩川用水という名前で
この岩戸川から水を
引いているんだ

じゃあ私たちは
いかに沿って
ずっと走ってきたから
水源はまだまだ
上流なんだ



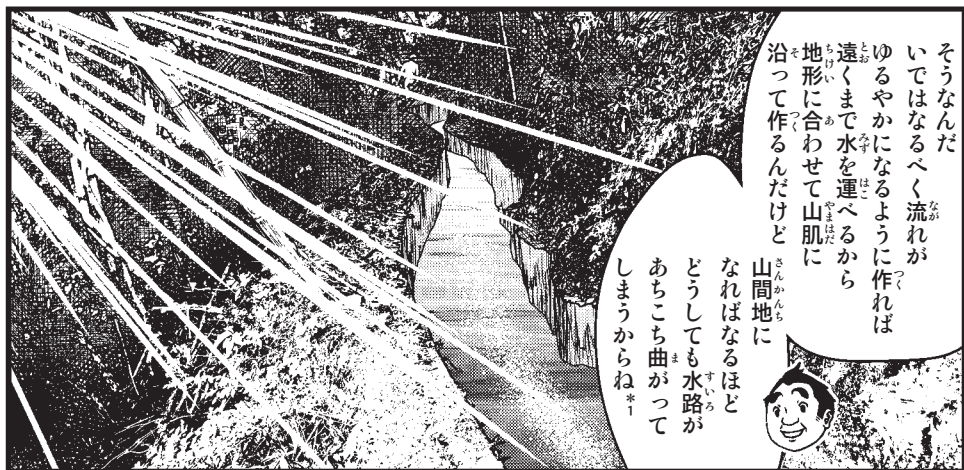
アあれは何デスカ?



川の上に橋がかかって
そこを水が流れてる!

上の方から流れてきたいだが
この川に落ち込まないように
橋を作って
川を越えるようにしたのね



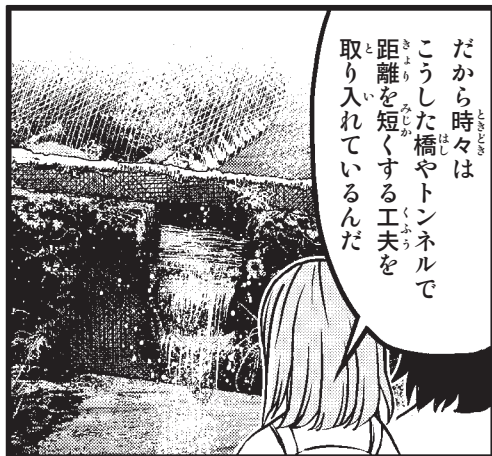


そうなんだ
いではなるべく流れが
ゆるやかになるように作れば
遠くまで水を運べるから
地形に合わせて山肌
沿って作るんだけど

山間地に
なればなるほど
どうしても水路が
あちこち曲がって
しまうからね*



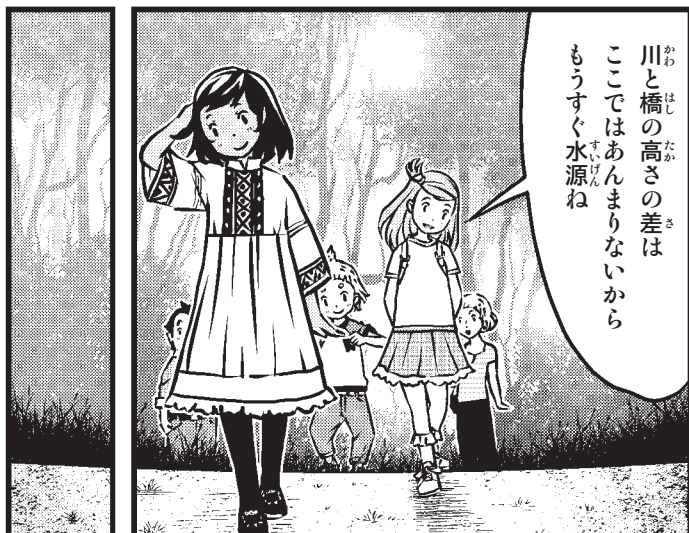
*1 学術的には迂回指数が高いといいます



だから時々
こうした橋やトンネルで
距離を短くする工夫を
取り入れているんだ

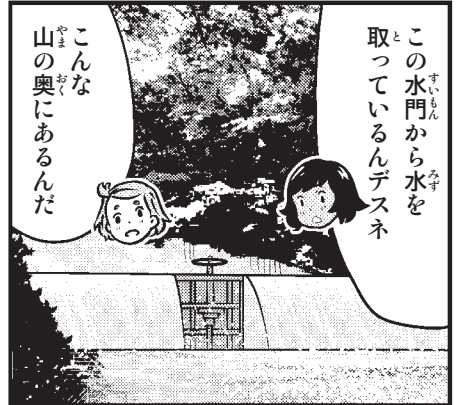
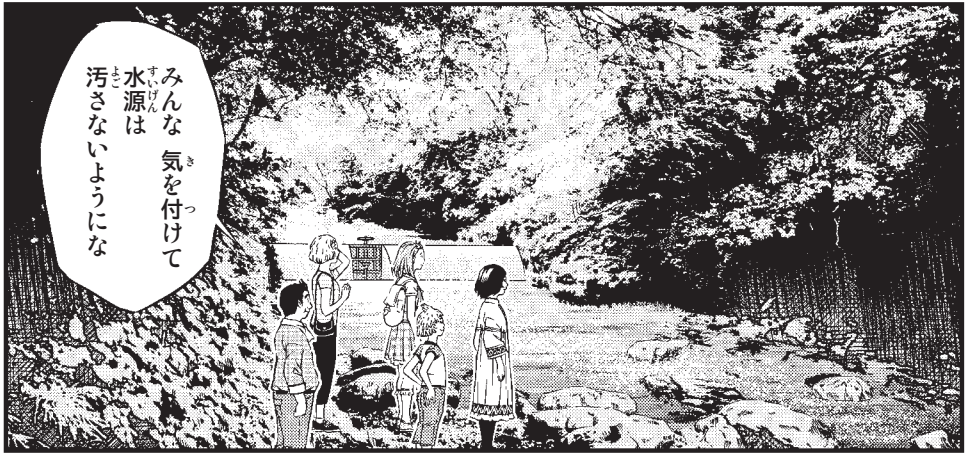


確かに高千穂のいでは
くねくねデスネ



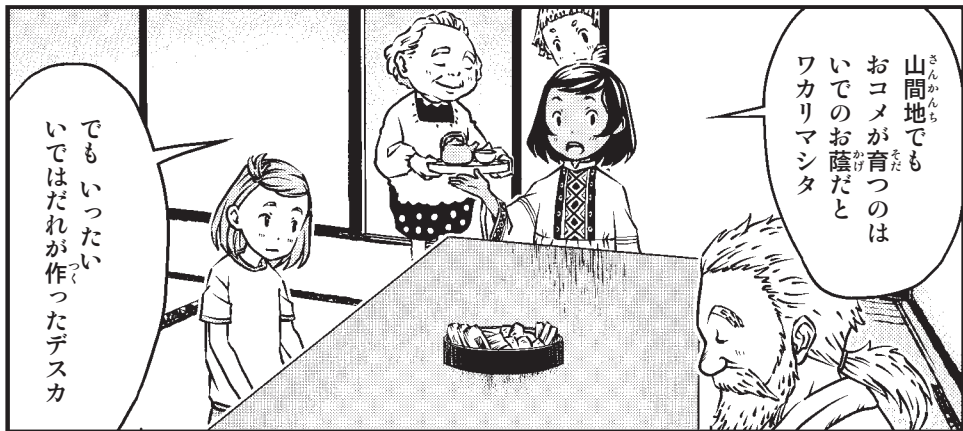
川と橋の高さの差は
ここではあんまりないから
もうすぐ水源ね





* 2 学術的には面積水路が長いといいます





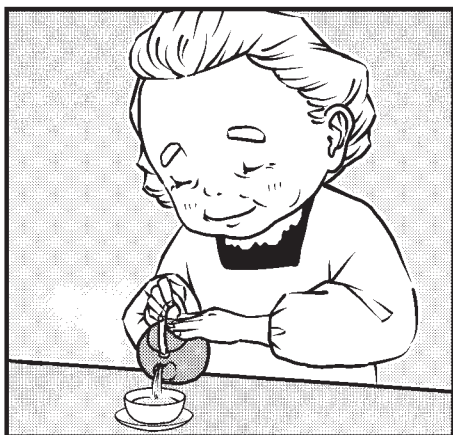
山間地でも
おコメが育つのは
いでのお蔭だと
ワカリマシタ

でも いったい
いでではだれが作ったデスカ



ふふっ いでを
作ってくれたご先祖様は
それこそあちこちの村々に
たくさんいらっしやる

しかし 中でもとびきりの
ご先祖様といえはこの方じやろう



それは今から
150年も前
江戸時代の末のことじや

高千穂の岩戸川沿いの台地には
点々と集落があった
しかし 水汲みに4kmかけて
川までいかないといと 飲み水すらなく
ムラはひどく貧しかったんじや

稲作などはとてもで
きん
畑でトウモロコシや
栗 甘藷などを育て 何とか
暮らしておったそうじゃ

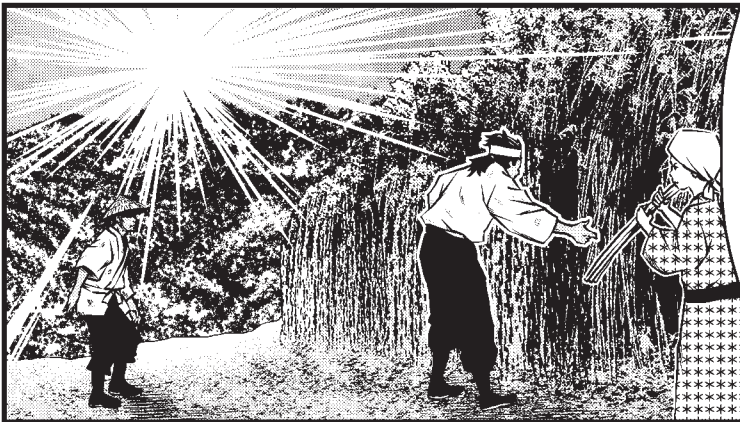


コメが食べられるのは
盆と正月だけ



それも 大分の竹田や
熊本の馬見原まで
買いに行っていたんだと

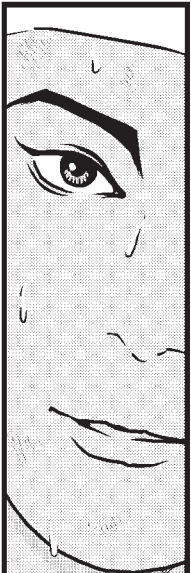
中でも
真夏に収穫しなければならぬ麻は
一番お金にはなつたそうだが
なかなかしんどい作物じゃった



あー
このムラでもコメが
作れればのう…

それにしても熱い

ふくしまつ や
福嶋辰弥





そうじや
ここはお天道様か
これだけあたるんじや
水さえ引けばこの土地は
コメ作りに向いておる

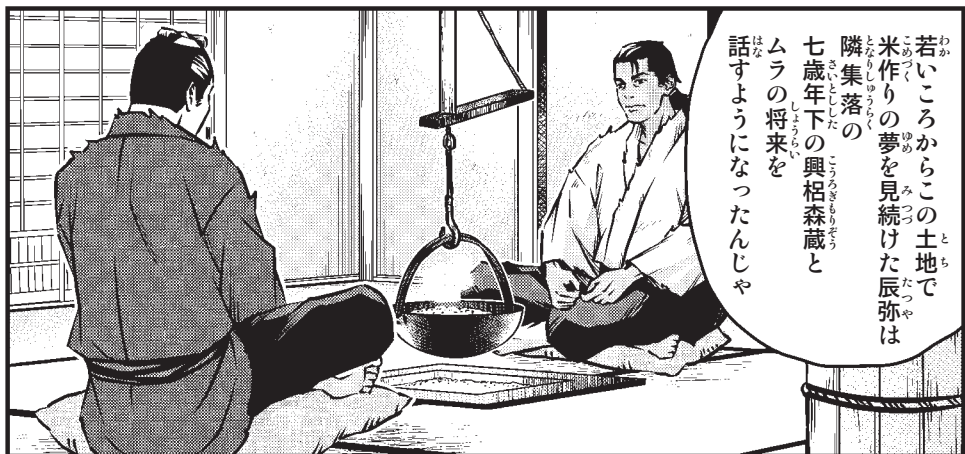
そうすれば村の皆
さらに子孫の代まで
苦勞せずにすむ!!



それから
明治2(1869)年



ははは
そうじや



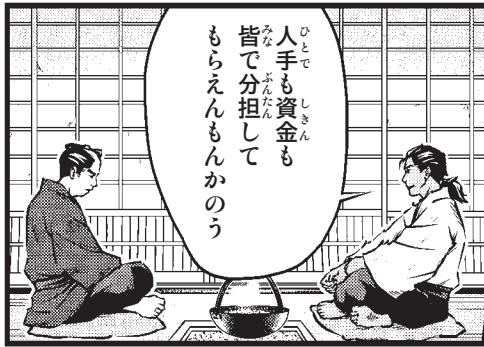
若いころからこの土地で
米作りの夢を見続けた辰弥は
隣集落の
七歳年下の興梶森蔵と
ムラの将来を
話すようになったんじや



この土地より
もつと高い所から
水を引いてこんとならんぞ



どうしても
用水路がある
何とか作れんもんか



人手も資金も
皆で分担して
もらえんもんかのう



そうなる
と土呂久あたりが
水源になるな
はるか遠くじゃ



ムラの人々にとっては
絵空事に過ぎなかつたんじや

山また山の高千穂では難工事に
なることがわかつておつたし
いくらお金が掛かるかも
わからん



こうして二人は二軒一軒
訪ね口説いて回つたが
なかなか賛同する人は
現れんかつた



そして
18年の長い時間が
経過した…



と
お
さ
き
遠い先になるかもしれないが
かならず皆わかる日が来る

いま
今はまだ少ないが
賛同してくれている者もおる



いくらあちこち回っても
やはり無理じゃ

いや、これは
わしらの子孫のために
わしらの代のうちに
始めるといかなのじや



辰也 62歳の時
やっと集まった仲間
それから何とか
83名の賛同者を集め
起工式をむかえた

よし
力を合わせようや！



そして長い長い
歳月が経ち
明治20(1887)年

わい
わい



木を伐り土を掘り
石を運ぶ
当時は何の機械もなく
すべて人力じゃ

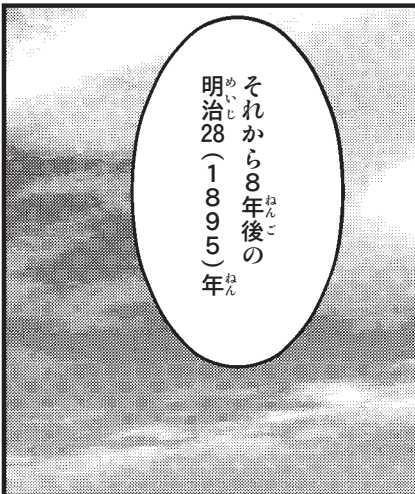
10本近くの
トンネルと
2か所の水路橋も
作らねばならん



しかし辰弥は私財を投打って
休みなく働き集会の際には
自宅を開放し食べ物を提供して
仲間を励ましたんじや



工事が始まってからも
二人をあざ笑い罵倒する
村人が多かったそうなの



それから8年後の
明治28(1895)年





なが
長さ16 kmに及ぶ
いわかわようすい
岩川用水は開通
およ
および

はたら
働いた人のべ2万人
ひと
工費3千円余りをかけた結果
けつ
37.5 haもの新田が開かれ
しんてん
140t以上の収穫に
つな
つながったそうじや



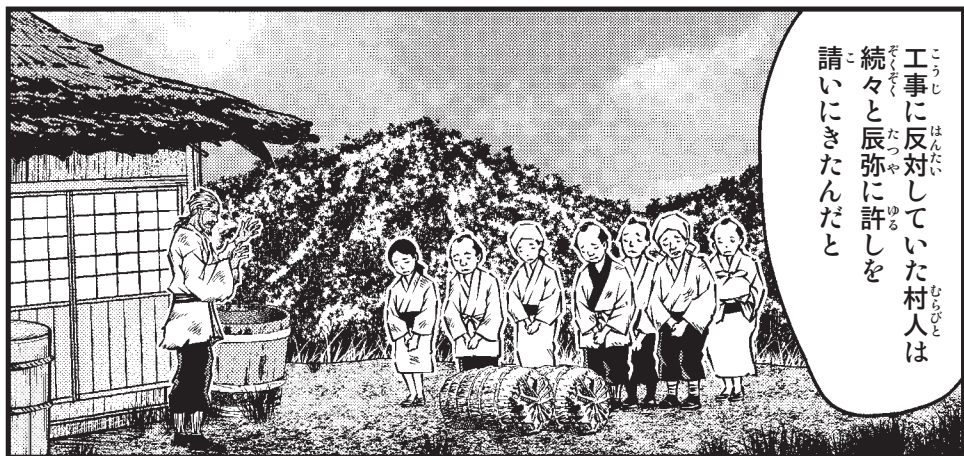
たつや
辰弥と辛苦をともし
しんく
監督として工事の先頭に
こうじ
立ってきた興柁森蔵は
せんとう
たつや
興柁森蔵は

かんせい
完成の2年前に
ねんまえ
亡くなっておった



この時
辰弥は70歳に
なっておった

や
やったぞ森蔵
もりぞう
み
見てくれ



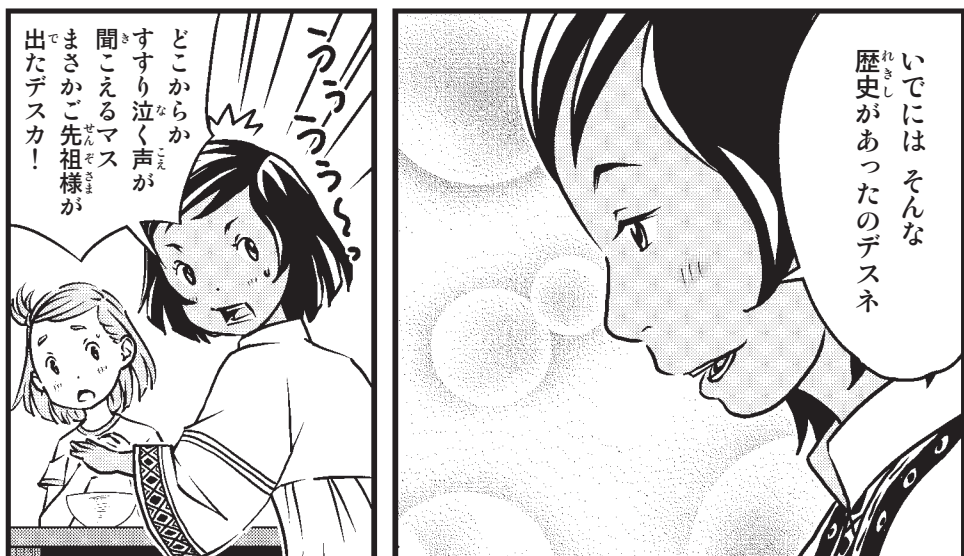
こうし ほんたい
工事に反対していた村人は
そとそく たつや ゆる
続々と辰弥に許しを
むらびと
請いにきたんだと



たぢや な
しかし辰弥は亡くなるまで
なほ ほこ
何も誇らず何も
なほ
求めなかったそうなの

たつや もりぞう
辰弥と森蔵が開いた
とうし さいち
当時最長の間では
りつば げんえき
いまも立派に現役で

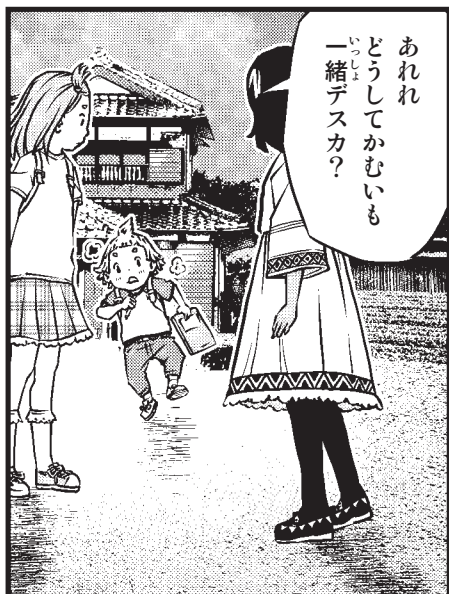
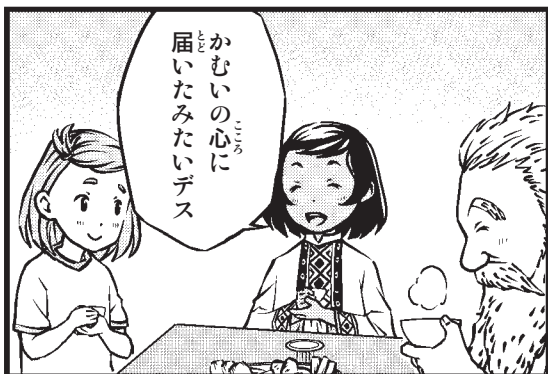
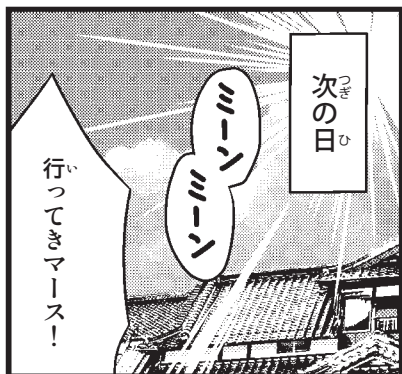
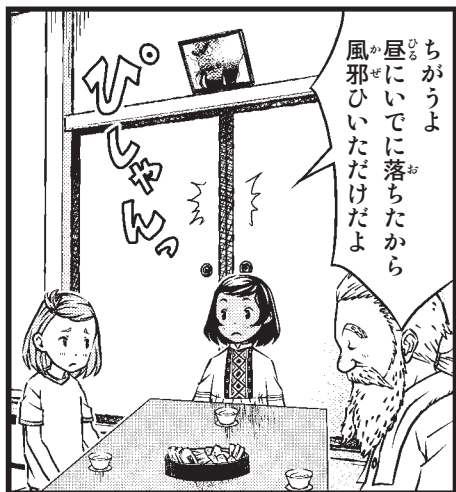
たぐさんの
すいん まま
水田を守ってくれて
いるんじゃ

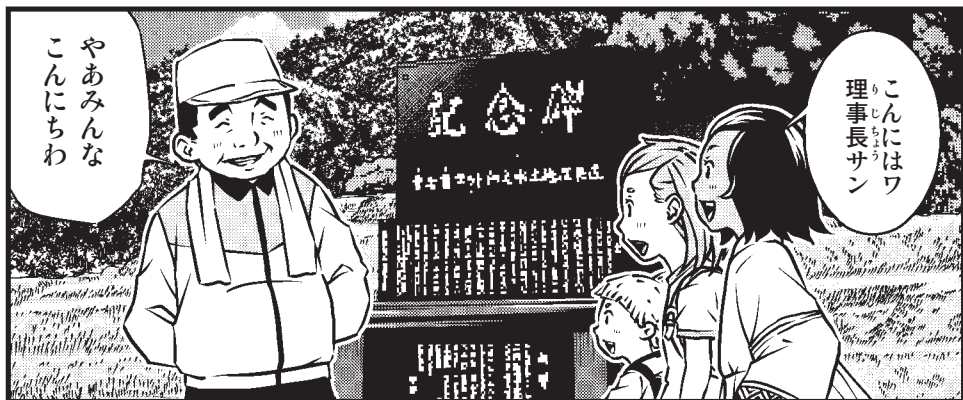


いでは そんな
れきし
歴史があつたのデスネ

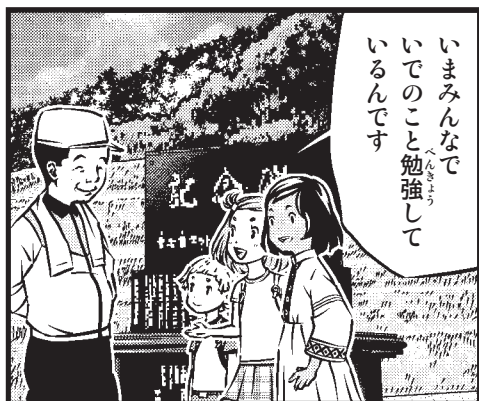
どこからか
すすり泣く声
聞こえるマス
まさかご先祖様
せんぞさま
が出たデスカ!

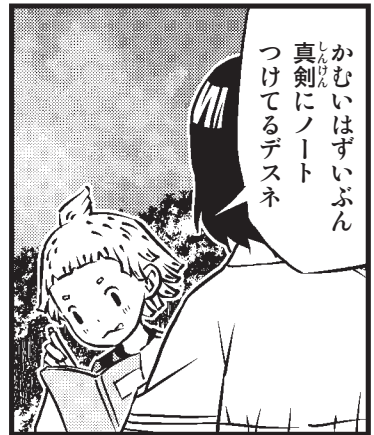
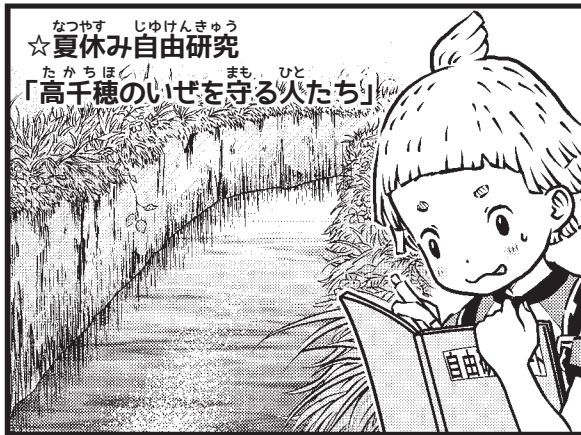
こわーこわー





高千穂土地改良区
理事長さん





まいとし さいぎょう
 ☆毎年やること → いじ・かんり作業

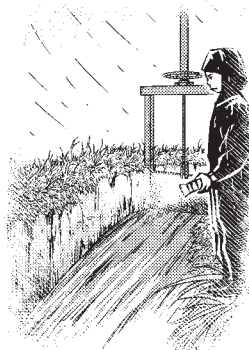
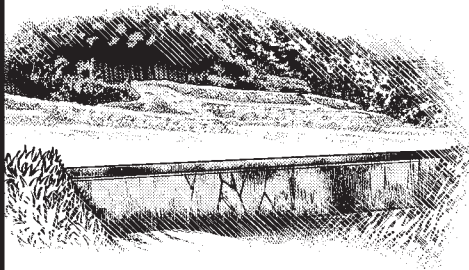
- 年に3回
 5月から9月にかけて
 いでのまわりの草刈り



- 3月から4月はじめに「さらえ」をする
 さらえは 田植えが始まる前に
 土砂・落ち葉をそうじすること

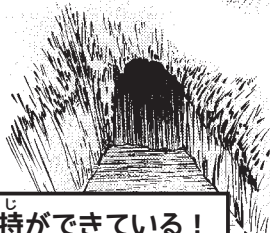


- 大雨や台風の時 洪水にならないよう見まわる



水が多いときは
 水門をあけて川
 に流す
 折れた木で水路
 がつまると水が
 あふれる

- 土手がこわれていたら修理
 老朽化でコンクリートが
 くずれることがある



☆いでのながいので 以上のことを
 7区間に分けてやっている

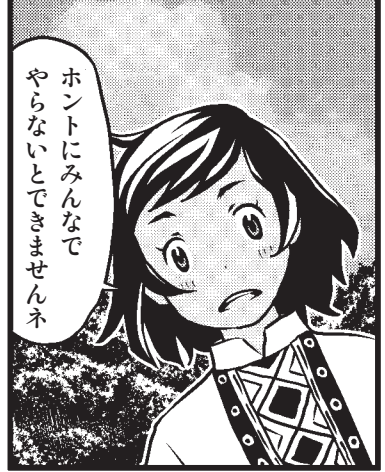
- こわい場所は 岩をくりぬいた
 だけのトンネルの中や
 坂がきつくて足場がけわしい所

☆みんなで協力して維持ができています！



うんその通り
ところが、いまでも
専業農家が少なく
なっているよね

わたしたちの土地改良区も
後継者不足で組合員が減ってきたんだ
手分けしてきた水路の管理も
人が減るとしんどくなるよね



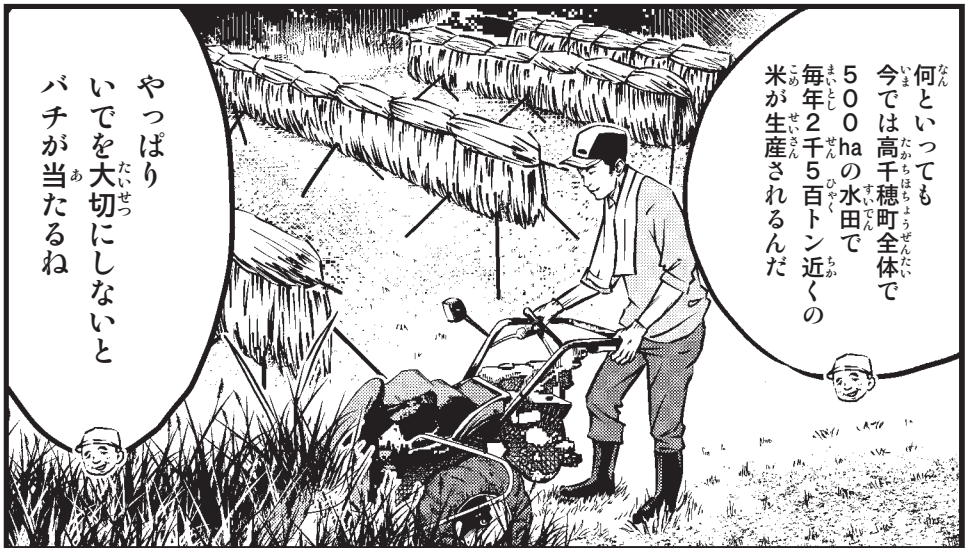
ホントにみんな
やらないとできませんネ



ひとりでぶそくに高齢化もある
組合員の負担金も
重いからね

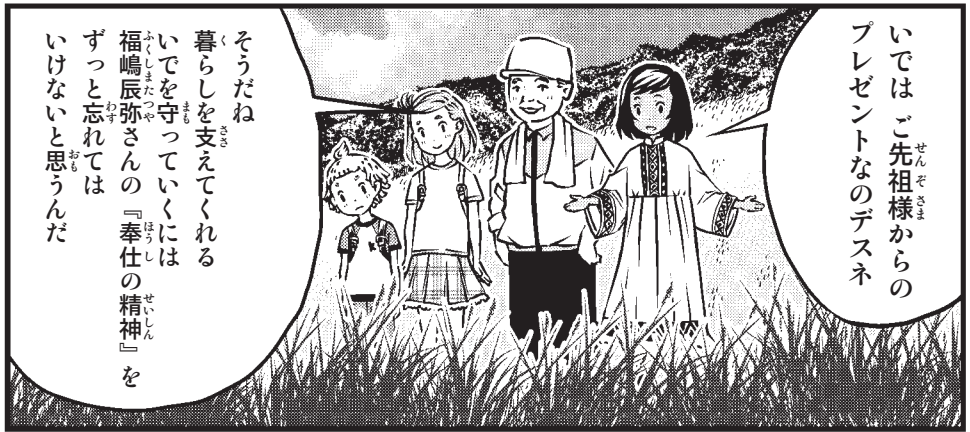
でもね、考えてもら
私たちの親も
そのまた親も
ずっとずっと以前から
この地で苦勞や課題に
立ち向かって下さった

だから今の豊かな
田んぼがある



何といつても
今では高千穂町全体で
500haの水田で
毎年2千5百トン近くの
米が生産されるんだ

やっぱり
いでを大切にしないと
バチが当たるね



いではご先祖様からの
プレゼントなのデスネ

そうだね
暮らしを支えてくれる
いでを守っていくには
福嶋辰弥さんの『奉仕の精神』を
ずっと忘れては
いけないと思うんだ

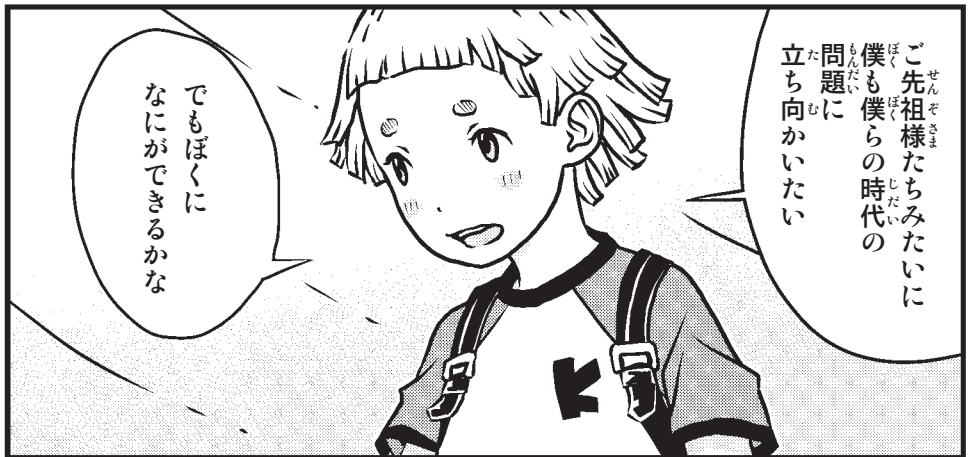


私たちの代だけで出来ることは
そんなに多くない
だから受け継いでそれを
発展させることが
大事なんだ



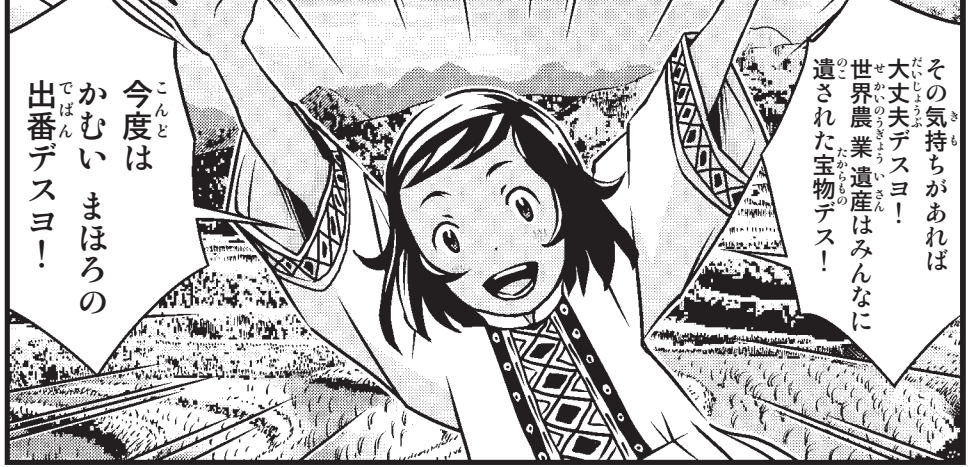
一本一本のいでは
細い流れダケド
この棚田全部を育てて
くれていたんデスネ

ご先祖様の苦勞が今の
実りにつながっているのね



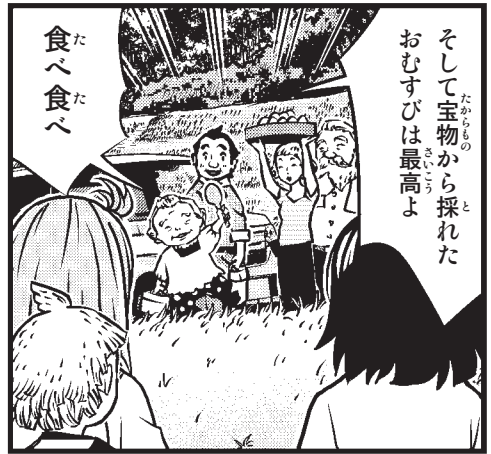
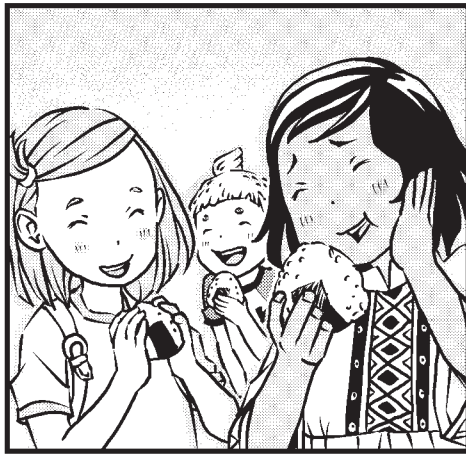
ご先祖様たちみたいに
僕も僕らの時代の
問題に
立ち向かいたい

でもぼくに
なにができるかな



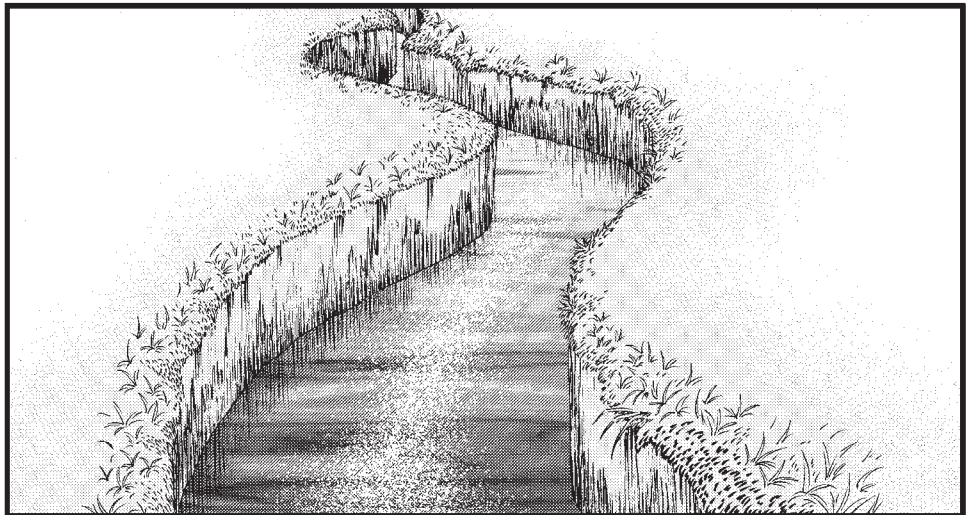
その気持ちがあれば
大丈夫デスヨ!
世界農業遺産はみんなに
遺された宝物デス!

こんど
今度は
かむい まほろの
出番デスヨ!



食べ食べ
食べ食べ

そして宝物から採れた
おむすびは最高よ



せ かい の う ギ よ う い さ ん

世界農業遺産とは

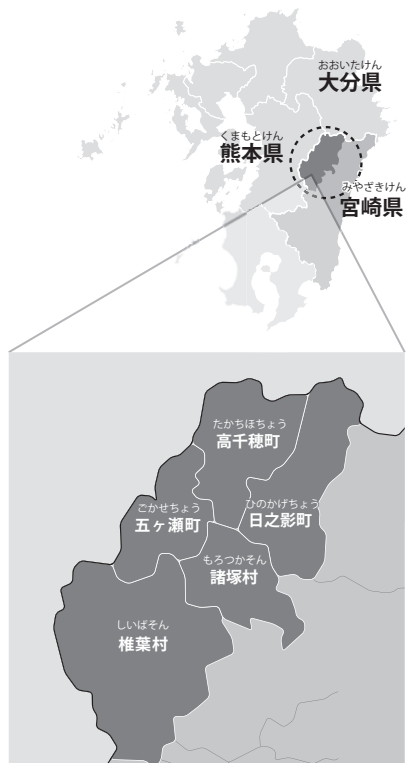
せ かい てき せい じ ゅ う ち ゅ う かの う り ん ぎ ゅ う でん と う おん か う つ ち い き に ん
 世界的に重要で価値のある農林業や伝統文化などが受け継がれている地域を認
 てい せい ど こく れん し ゅ け り ゅ う の う ギ よ う き か ん ねん かい し せい ど
 定する制度で、国連食糧農業機関（FAO）が2002年に開始した制度です。
 ねん が つ げ ん ざい こく ち い き に ん てい に ほ ん こ く ない ち い き に ん てい う
 2018年7月現在で、21カ国52地域が認定、日本国内では11地域が認定を受
 けています。英語名称「Globally Important Agricultural Heritage Systems」の
 か し ら も じ
 頭文字をとって GIAHS（ジアス）とも呼ばれています。

た か ち ほ ご う し い ば や ま ち い き
高千穂郷・椎葉山地域とは

た か ち ほ ち ゅ う き ん り ん ひ の か げ ち ゅ う ご か せ ち ゅ う
 高千穂町は近隣の日之影町、五ヶ瀬町、
 もろづか せい ぼ せん と も ねん が つ
 諸塚村、椎葉村と共に2015年12月に世
 かい の う ギ よ う い さ ん に ん てい う ち ゅ う せ ん
 界農業遺産の認定を受け、この5町村を
 そう た か ち ほ ご う し い ば や ま ち い き
 総じて「高千穂郷・椎葉山地域」と呼ん
 でいます。本 地 域 は、総 面 積 の うち 森 林
 めん せき 91.9% を 占 め る 平 地 が 極 め て 少 な
 い 地 域 で す が、そ の 厳 し い 条 件 に 適 応 し
 ながら農林業を営んでおり、それが国際
 てき ひ ゅ う か せ かい の う ギ よ う い さ ん に ん てい う
 的に評価され世界農業遺産の認定を受け
 ました。棚田での稲作や山腹用水路の管
 り、畜産、多品目に渡る野菜や果実、花
 き、などを1軒の農家が複合的に農業を
 い と な とく ち ゅ う てき さん か ん ち の う
 営んでいることが特徴的で、「山間地農
 り ん ぎ ゅ う ふ ぐ ご う
 林業複合システム」と呼ばれています。
 また、神楽や民謡など様々な伝統文化も
 いろ こ の こ ち い き
 色濃く残っている地域です。そして、こ
 の よ う な 厳 し い 中 山 間 地 域 に お い て そ れ
 の う り ん ぎ ゅ う でん と う おん か う つ
 らの農林業や伝統文化を受け継いできた
 ち い き じ ゅ う めん けつ そく り ゅ く ほん ち い き せ かい
 「地域住民の結束力」が、本 地 域 が 世 界
 ほ こ し ゃ ん
 に誇れる資源の一つである、と国際的に
 た か ひ ゅ う か
 も高く評価されています。

せ かい の う ギ よ う い さ ん に ん てい
世界農業遺産に認定された

た か ち ほ ご う し い ば や ま ち い き
「高千穂郷・椎葉山地域」





世界農業遺産
高千穂郷・椎葉山地域

GIAHS Takachihogo - Shiihayama

せかいのうぎょういさん

世界農業遺産

たかちほごう

しいばやまちいき

高千穂郷・椎葉山地域

たかちほ

ものがたり

さんぶくようすいろ

ひみつ

高千穂いで物語 山腹用水路の秘密

平成30年11月30日発行

発行／高千穂町

〒882-1192 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13番地

高千穂町役場財政課総合政策室

TEL:0982-73-1260 FAX:0982-73-1261

マンガ／松本康史

制作／(株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3丁目2番1号

TEL:092-643-7075 FAX:092-643-7095